

平成30年度 一般入試② 問題 (社会)



問題 次の文章をよく読んで、あとの問いに答えなさい。

みなさんは、日本がさまざまな自然災害がおきやすい国土であることを、学習してきたと思います。地震や台風による被害など、日本では毎年のように自然災害がおきているのです。しかし、地震や台風などの自然災害をおこらないようにすることはできません。そのため、自然災害による被害をいかに防ぐのかという **ア** や、被害を少なくする **イ** の取り組みなどが、多くの地域で努力されてきました。

しかし、そうした取り組みは、最近になってからはじめられたものではありません。たとえば、東京や①**横浜**、そして②**北海道**の函館などは、戦前から災害に強いまちをつ

くるために、計画的な都市改造を行ってきた代表的な都市です。東京と横浜は、1923年に**関東大震災**の被害を受けます。その復興のなかで、大規模な都市計画を練り、地震やそれに伴う火災に強いまちづくりを行いました。東京では、火事の広がりを防ぐために、44mの幅の「昭南通り」など、大きな幅をもつ道路がつくられたほか、火事に強いコンクリートでつくられた③「復興小学校」が建てられました。そして、こうした東京の復興とまちづくりの経験を受け継いで、災害に強い都市計画の方法ができあがったといわれているのが、函館市の計画なのです。函館では1934年3月21日に「函館大火」がおきました。火災後の復興に東京の経験がいかされることになるのですが、まず、函館のまちや函館大火の経緯について少しくわしく見ていくことにしましょう。

函館は、**渡島半島**の南部にあり、**津軽海峡**に突き出した**函館山**を起点に、おうぎ状に市街地が広がっています。そのため、市街地は海に囲まれていて、強い海風が複雑に風向きを変えながらまちに吹き込む環境にあります。さらに**北海道**ですので、気候は寒冷で、**暖房**のために火を扱う期間は長いのです。戦前の函館では、④**家屋**のほとんどは木造なので、火の扱いを誤れば火事がおき、海風に吹かれて、火事は一気に広がっていきました。そのため、戦前の函館は何度も大火がおき、「火事の名所」とも呼ばれていました。函館大火の当日も、発達した低気圧が函館を通過し、海からの強風が吹き込んでいました。その強風によって、夕方には市内各所で看板の落下や電柱が傾くなどの被害が出始め、ついに18時34分には全市が停電となったのです。そうした状況のなか、屋根を吹き飛ばされた家屋にあった炭火に新聞紙が引火、またたく間に市内に火の手は広がっていったのです。消防隊は火の広がりを抑え込もうとしましたが、火の勢いは強く、次々に消火拠点を後退せざるを得ませんでした。結局、火事を消し止められたのは、翌日の朝6時になってからでした。

⑤この大火によって、2000人以上が亡くなり、市内の全戸数4万2000戸のうち2万4000戸以上が焼失したといわれています。函館は、⑥**1930年代初頭**、東京以北で最大の都市でしたが、その都市にある住居の半分以上が、一夜の火事で焼けてなくなってしまったのです。このようなかつてない大火の後、函館では焼失した区域の復興だけでなく、市内全体を災害に強いまちに改造しようと計画が練られていくことになります。そのとき、東京の復興事業の経験がいかされていくのです。東京の復興の中心を担ったのが、⑦「**帝都復興院**」という政府機関ですが、函館の復興計画にはその元計画局長や元建築局長などの人々も応援したのです。さらに、東京の復興時にはなかなか人々の理解を得られず実行できなかった計画が、函館では実行されていきます。例えば、道の幅は東京の昭南通りよりも広い55mで、かつその中央には植樹がなされた**グリーンベルト**が設計されています。ヨーロッパでは街路樹や側道をもつ大きな道路のことを「**ブルーバール**」と呼びますが、函館の復興でつくられたこうした道路は、日本における初めての本格的ブルーバールといわれています。

このような当時の**先端的な都市計画**は、国や**北海道**の支援もあり、短期間で成し遂げられていきます。⑧**現在の函館の市街地**の基本的な枠組みは、このときつくられたものです。近年函館は、美しい街並みが人々を引きつけ、観光都市として全国にもよく知られていますが、その美しさは、復興のときにつくられた幅の広い道路やその緑が織りなす**景観**にもあります。しかし、その美しさには大火という悲しい歴史が刻まれているのです。みなさんの住んでいるまちの見慣れた風景も、歴史をひもとくと、災害の記憶が深く刻み込まれているかもしれませんね。

《写真》^{はこだて おおもり}函館の大森小学校(中央奥)とグリーンベルト



(大森小学校は、他の小学校と統合され、現在「あさひ小学校」と呼ばれています)
函館市史編さん室「函館市史通説編第3巻第5編」(デジタルアーカイブ)より

問1. 文中の **ア** と **イ** に適する語句をそれぞれ漢字で答えなさい。

問2. 下線部①に関連して、横浜は1858年の日米修好通商条約によって開かれた港の1つです。では、同じ条約で貿易が認められた九州の港はどこですか。その地名を漢字で答えなさい。

問3. 下線部②に関連して、次の問いに答えなさい。

(1) 北海道は、江戸時代には何と呼ばれていましたか。

(2) 次のア～オの事から都道府県別でみた順位のうち、北海道が全国第1位(2014年)でないものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 肉用牛の飼育頭数 イ. にんじんの生産量 ウ. 牛乳の生産量 エ. ジャガイモの生産量
- オ. 豚の飼育頭数

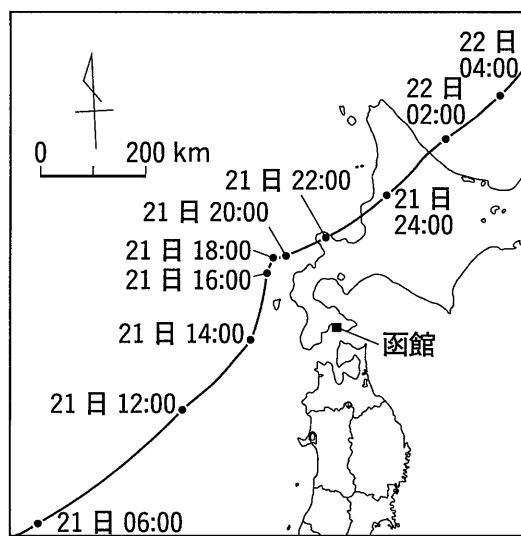
問4. 下線部③に関連して、小学校について述べた文として誤っているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 明治時代に学制が定められたことをきっかけに、日本全国で小学校が設置されていった。
- イ. 太平洋戦争中には、小学校は国民学校と呼ばれ、子どもたちは軍隊や戦争にかかわることを多く教えられた。
- ウ. 現在の小学校教育は、日本国憲法に定められた「教育を受ける義務」にもとづいておこなわれている。
- エ. 現在、内閣のもとで小学校教育にかかわる仕事を受け持っているのは、文部科学省である。

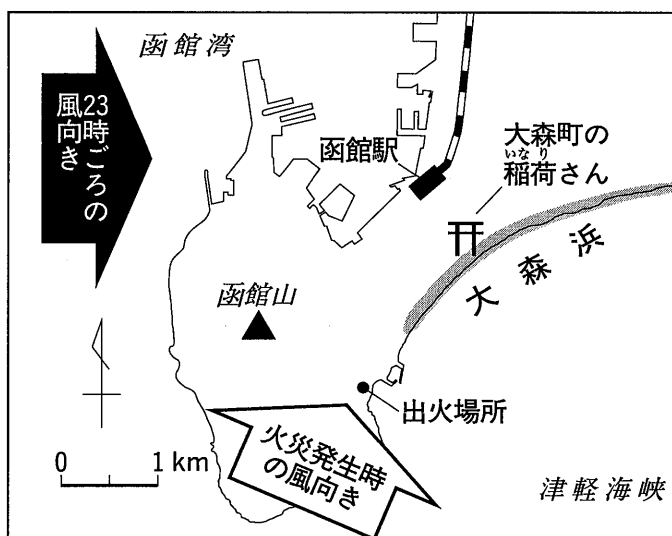
問5. 下線部④に関連して、近年、北海道では平らな屋根の家が多く建てられるようになってきました。その理由を簡単に答えなさい。

問6. 下線部⑤について、なぜ1934年の火事は特に大きな被害をもたらしたのでしょうか。その原因と考えられることを、本文と次の3つの《資料》を参考にして、その日の気象面と避難誘導の観点から120字以内で説明しなさい。

《資料1》1934年3月21日の低気圧の進路図



《資料2》1934年3月21日の風向きの変化



《資料3》 避難誘導に関する証言 (() は引用者による)

(a) 避難指示を受けた薬剤師(当時)ほかの証言

「(警察署員が)「大森浜へ」と指示したのをはっきりと憶えている」

(b) 避難指示を受けた小学五年生(当時)の証言

「(函館) 駅は危険だ、大森町の稲荷さんの裏、海岸が安全」と指示を受けた

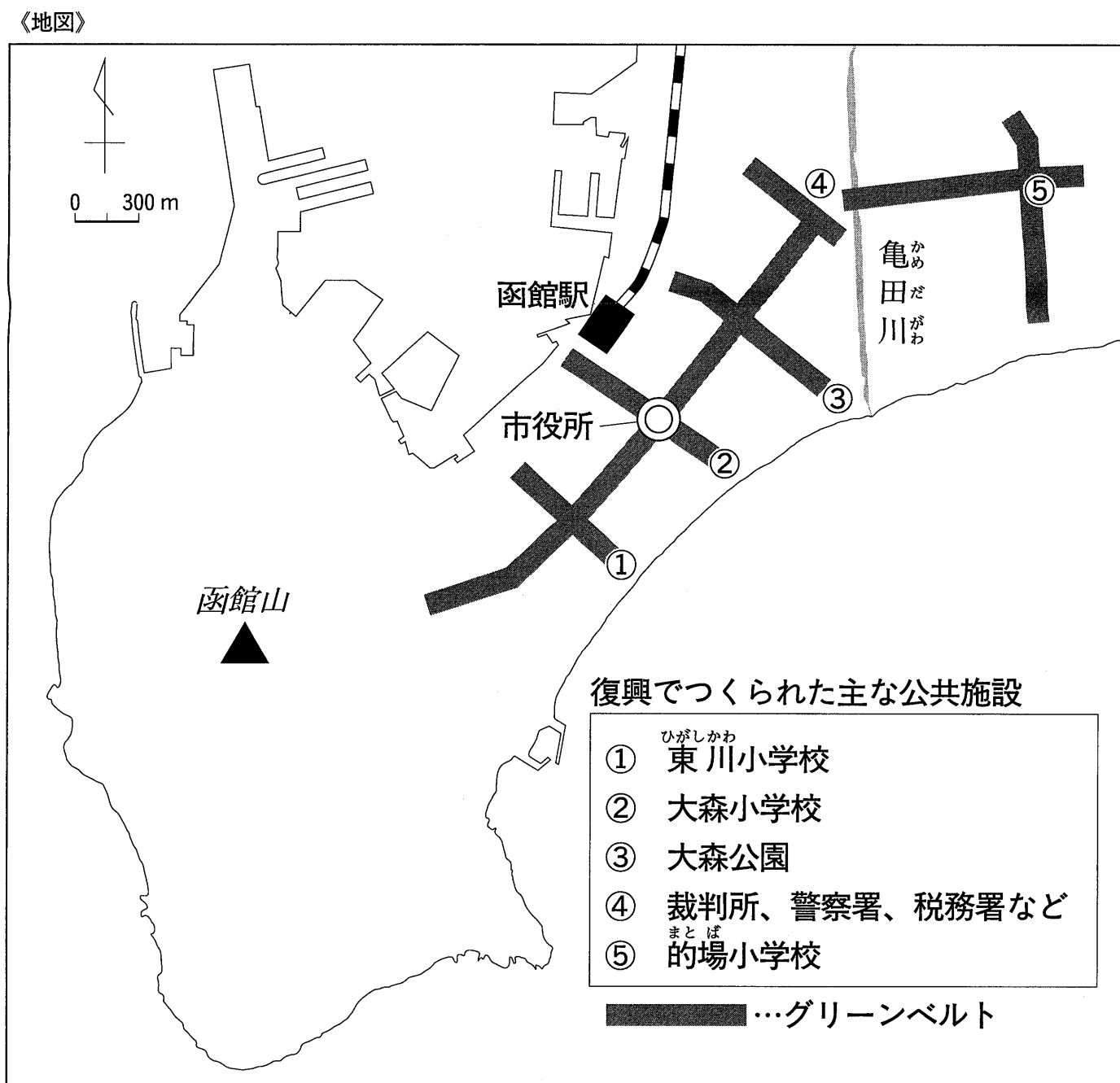
* 《資料1》は宮崎揚弘『函館の大火—昭和9年の都市災害』の71ページをもとに作成。《資料2》は同書を参考にして作成し、海岸線は現在のものを使用。《資料3》は同書の104ページからの引用。

問7. 下線部⑥に関連して、このころ日本では世界中の不景気の影響を受けて、生活に苦しむ人々が多くなりました。それを背景の1つとして、1931年に日本軍は中国で軍事行動を展開しました。その一連のできごとを漢字で答えなさい。

問8. 下線部⑦に関連して、このとき「帝都復興院」の責任者となり、東京の震災復興計画を立案した人物の名前として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 後藤新平 イ. 陸奥宗光 ウ. 小村寿太郎 エ. 新渡戸稲造

問9. 下線部⑧に関連して、次の《地図》は復興でつくられた函館の市街地を示しています。グリーンベルトと公共施設が市内の各所につくられていることがわかります。では、それらをつくることが、どうして災害に強いまちづくりといえるのでしょうか。本文と《地図》を参考にして、220字以内で説明しなさい。そのさい、グリーンベルトや公共施設は、都市計画の中でどのようなねらいで配置されたのかを明らかにしつつ、火災時にそれらが具体的にどのような役割を果たすのかについて、それぞれふれること。



* 《地図》は片柳 勉・中園 翔太・望月優兆「地域の象徴としてのグリーンベルトと地域社会の意識—函館市のグリーンベルトを事例として—」『地球環境研究』Vol. 14(2012)の49ページをもとに作成。なお、海岸線と亀田川の河道は現在のものを使用。

問 1. ア イ 問 2.

問 3. (1) (2) 問 4.

問 5.

問 6.

低	気	圧	が	函	館	付	近	を	通	過	す	る	と	き	の	み	速	度	を
落	と	し	た	た	め	、	強	風	が	長	時	間	吹	く	こ	と	に	な	っ
た	こ	と	や	、	最	初	は	風	向	き	か	ら	安	全	地	帯	と	思	わ
れ	て	い	た	大	森	浜	へ	の	避	難	誘	導	が	、	風	向	き	の	変
化	に	よ	り	、	危	険	地	帯	に	避	難	誘	導	す	る	結	果	に	つ
な	が	っ	た	こ	と	で	被	害	は	大	き	く	な	っ	た	。			

100
120

A	A
B	B
C	C
D	D

問 7. 問 8.

問 9.

グ	リ	ー	ン	ベ	ル	ト	に	よ	り	、	函	館	の	市	街	地	は	い	く
つ	に	も	分	断	さ	れ	、	防	災	上	の	ブ	ロ	ッ	ク	が	作	り	だ
さ	れ	て	い	る	。	そ	う	し	た	ブ	ロ	ッ	ク	に	よ	り	、	も	し
火	事	が	起	き	て	も	、	道	路	の	幅	の	広	さ	と	中	央	の	グ
リ	ー	ン	ベ	ル	ト	の	植	樹	帯	に	よ	り	、	他	の	区	域	に	火
が	広	が	る	こ	と	を	防	ぐ	こ	と	が	出	来	る	よ	う	に	な	っ
て	い	る	。	ま	た	、	そ	う	し	た	区	域	の	端	や	交	差	点	な
ど	の	重	要	な	場	所	に	は	、	燃	え	に	く	い	コ	ン	ク	リ	ー
ト	で	つ	く	ら	れ	た	公	共	施	設	が	配	置	さ	れ	、	火	災	時
に	は	火	の	拡	大	を	防	ぐ	ほ	か	、	避	難	所	の	役	割	を	果
た	し	て	い	る	。														

100
200
220

A	A
B	B
C	C
D	D
E	E

受験番号		氏名	
------	--	----	--

計
